

る。の日がた。あ、段々うちに
あてい戸習言しににし階なな難だ
てい井寒のな測る所かかは違う
寺ててや。鐘聲推こ難し坂ればそ
おしれ水で法と避はけけ際り
の接さうい中めい波るになのか
宗隆洗うためい高津しめてが難か
洞と管をもはえてしめて咎用急が
曹家く手態曰こつ少たつに使用間
○人よ、状当聞行 ○るな上をすな時

住にし、封く。河供い
がめ誂を除の。のがて
尚た誂思をも体花れ
和うをいした。2、さ
に顔部災れはあり入
紀を千河のさには入
世泰一ら童令隣が手
2安經の祈折岡碑れ
1の華たてもの。のら
○民法いじた碑重える
と、名が、人差
でい有たに
すは。なだ
もやてらな名た。
ふし元あ知知
の地でも思
きす。地など
と。光るる
泉く観元いあ
○ア感な地もが

○実習日は農協婦人会、米作り講習会の集まりをしていたためお話を伺うことができた。

○分子村では、1月に新年会があり7月に神社でのお祭り、さのぼり、9月に敬老会、10月に水神様のお祭り、12月に神社のお祭りが開催されていた。

分子村営農研修館の横にはバス停があった。

○村のために尽力した久兵衛という人物のことを記す。
○水不足で困っていたところ、久兵衛が灌漑工事を行ったことにより解決した。
○村の者は久兵衛に感謝し、この碑文を感した。
※上の文章は碑文を読み解いたもののため、正確性に欠けることがあります。

○民家の駐車場にあったポスト。
○この色だから青島にあるものと何かの関係があるのではないかと推測した。
○所有者にはお話を伺いできなかったので詳細は不明である。

体り川域。
 はま北の
 り集、地
 まの原、
 集子高、
 日一。く
 日コた。集
 今のっどら
 ○操だなか
 ○まこそと
 共ないで
 公りまの便
 思
 ○平で延
 趣はのを
 の延康う
 の健康う
 活動、と
 活命、と
 操寿、と
 平均なば
 思ふなば

○歩道は整備している途中であり、走行する車のスピードもかなり出ていたため歩くのは危険な場所であると感じた。

○実際地元の方も歩道がないと危ないから危険という意見を持っておられた。

○昨年の台風の際にこの家屋の破片が近所の住宅に飛んできて窓ガラスが割れた。
○倒壊中の家付近に杉の木がある。そのためイネが被害にあっているため管理してほしい。町も何かしらの対策をしてほしいという意見を聞き出すことができた。

○伸びきった竹が道路の方へと垂れ下がっている。
○積荷を積んだ大型車両はこの道は通れなさそうだなと思った。
○道路は落ち葉や枝が散乱していたが、比較的滑らかで綺麗

- 平日のみの運行(祝日を除く)である。
- 利用料金は1回あたり200円となっている。
- AM7時台のバスしかなさそうだった。そのため移動面に関しては不便だと思った。
- 公共交通の便がもっとあればよいと思う人もおられた。

○川南東地区
体育館付近で
発見。
○雨風にさら
されており長
い間放置され
た形跡がある。
○吸い殻が集
まっているから
定期的に誰
かが捨ててい
ると思った。

○管理が行き届いていないのか、ソーラーパネルが草に侵されていた。○パネルの表部分は草が少なかったが、裏や側面に多く見られた。○草が影を作ること、発電効率が悪くなるのではと考えた。

賽錢



〒889-1301
住所 児湯郡川南町大字川南

○紹介する神社の中で一番規模が小さかった。入通りがほとんどのないような場所にと位置していた。
○古老の口碑によると、天文年間（1532～55）に創祀したと伝える。また横川に「慶長八年癸卯（1603）十二月再興」とある。明治四十四村となる。
○「日向地誌」によると、「寛永廿年十一月、明暦三年霜月、文政八年十一月九日、文久元年七月七日等の横川あり。明治四十年八月九日川南村無格社新田神社（祭神倉稲魂神、菅原道真）ヲ本社ニ合祀可、同年九月十九日川南村無格社新田神社（祭神 倉稲魂神）、無格社貴船神社（祭神 高倉迦美神、間瀬迦美神）ヲ本社ニ合祀許可有リタリ」と記されている。

○1月に元日祭、7月に夏祭り、12月に冬祭りを行う。地理的には川南町に位置する。12月の冬祭りでは神楽を舞う行事が行われる。

○たまたま御年神社の神主さんにお話を聞くことができた。神主さんのお話によるとこの御年神社は、もともとは①の甘漬神社であった。しかし、水の奪い合いが起こってしまい、3つの神社に分裂してしまった。分裂した1つの神社が御年神社である。綺麗に整備されていた。

☆都農町では田園風景や用水路に流れるきれいな水など自然の魅力を感じることができた。都農の方はインターネットにも快く答えてくださり、地域について詳しく教えてくださった。いくつカラブルはあったけれど無事に実習が終わり、14 班のエリアでたくさんのことを学ぶことができた本当によかった。今回学んだことを PBL や後期の都農実習でも生かしていきたい。都農町は道の駅や都農神社以外にもたくさんの魅力的なエリアがある。道の駅や都農神社以外のエリアも是非一度訪れて、自然の美しさを楽しんでほしい。(兵頭佑拓)

☆分子村(一部川南町)のエリアだけで三つの神社があることから、神話になにか関連のある地なのではと思ったが、水喧嘩による分裂の末三つに分かれたという話を伺った。このことから実習は自分たちで見たもの、推測したものであるから、現地の人の話も聞いて実習地の解像度を高めることが大切だと思った。住民の方々は皆人が良く、分子村に流れる空気感ともっと朗らかで良いところだった。(坂下羽飛)

☆分子村には、公共交通機関がほとんどないことに驚いた。唯一ある公共交通機関は、都農コミュニティバスであるが、都農コミュニティバス自体も本数がとても少なく、分子村の住民の方々はほとんどは自家用車で生活されている。私たちがフィールドワークを行っている間ずれ違ったのはほとんど高齢者であったため、公共交通機関が不足しているのは不便ではないかと感じた。このように実際に分子村を訪れていなければ、知ることができなかった情報も多いため、フィールドワークを通して実際の都農町の現状を知ることができたのもとても良かった。(河野佑希 記)

☆都農町の住民にお話を伺うの中で、「都農町はぶどうなどの果物や野菜の栽培が盛んなので、若者にもっと農業に興味を持ってもらい、都農町の農業を盛り上げてほしい。」というお話を聞くことが多かった。都農町は、ばつとある名産品が浮かびにいかもれないが、都農町の方々は都農に誇りを持ち、住民みんなが安全に暮らせることを願っていることがインタビューを通じて感じ取れた。限られた予算内で住民にとって不安・危険な箇所を減らし、都農特有の産業を生かしているかが今後の都農町の発展の鍵を握っていると感じた。（長倉大和）

インタビューに答えてくださった皆様、本当にありがとうございました。

最寄り駅からのアクセス JR都農駅より車で約15分